

南鯨城会 第50号

こなみ会だより

平成31年1月発行



大江川緑地

## 【目次】

こなみ会だより 50号を迎えて .....1~3

### ボランティア活動

☆ 名古屋市こころの絆創膏キャンペーンに参加して ..... 4

☆ 障害者、全日本グランドソフトボール選手権大会ボランティアに参加して ..... 5

☆ 鶴舞公園清掃に参加して ..... 6

### 会員コーナー

☆ 第18回趣味の作品展について ..... 7

☆ 第17回鯉城グランドゴルフ大会について ..... 8

☆ シニアファッションショーに参加して ..... 9

☆ こなみペタンク大会 .....10~11

☆ 25会ウォーキングだより .....12

☆ 昭和日常博物館見学記 .....13

☆ Bブロック会に参加して .....14

### 随想

☆ 私の「奥の細道」 ..... 15~17

☆ 朝の体操から .....18

### 俳句・短歌

☆ 俳句・川柳・短歌 ..... 19~20

### お知らせ

☆ 行事予定 (31/1~31/4)・編集後記 .....21

「表紙の説明」大江川緑地

大江川緑地内にある小さな人口池であるが、冬になると毎年数多くのカルガモが羽を休めている。公園を散策する人が、その姿に足を止めて見学している人を多く見かける。



( 写真撮影 B・千鳥 29期 健康A 木村 満治 )

# こなみ会だより 50号を迎えて

会長 C-菊住 29期 福祉A 大田 雅巳

「こなみ会だより」が今号で第50号を迎えます。こなみ会が発足して28年、近年は年に2回の発行ですが、この間、会員も順調に増えてきたものと想像されます。ただここ数年は鯉城学園の入学者が減少しており、鯉城会の入会者も減少傾向が続いております。これはそのままこなみ会の会員数の減少に繋がっております。

こなみ会が今後も発展を続けていくには、会員数が増加すればよいのですが、現在の多様化した世の中、個人が選ぶ選択肢も多いことから、そう簡単なことではないと思っております。そうは言うものの、いま取組んでいることは、こなみ会をもっと楽しくすることです。

会員の皆様の協力を得ながら、在籍しておられる方々が、こなみ会を一層楽しいと感じていただくために、入会時期が比較的若い方々を中心に希望を募り、

9月にボーリング同好会を立ち上げ、例会を

行いました。10月には南区の歴史愛好会を立ち上げ

11月には軽めのハイキング同好会も立ち上がりました。他にも新設を検討している同好会もあり、入会希望者にも「楽しめそうだ」と思ってもらえるこなみ会を目指していきたいと考えています。そうして「こなみ会だより」も順調に号数を重ねていくことになればと考えております。



# こなみ会だより 50号を迎えて

## 改善の時代を過ごした思い出

平成20・21年度会長 大橋 甚策

もう10年も前のことだから明確ではないかもしれませんが、当時の南鯨城会は他の鯨城会より元気がなくいろいろな面で遅れていたと思う。例えばクラブ・同好会活動を始めボランティア活動、諸行事そして会の機関紙（こなみ会だより）等である。私は何とか他の鯨城会並みにレベルアップしたいとの強い願望で、役員の皆さまとともに改善への取り組みを行いました。そして任期の2年間やっと少しですが達成できたように思います。これからも素晴らしい仲間恵まれ、頼もしいスタッフの尽力のお陰と今でも感謝しています。



### こなみ会だよりの改善

当時は未だ縦書き文章で読みににくく表紙は白黒で地味すぎて、内容も魅力に乏しかったです。そこで広報の担当の方々を中心に努力を重ね横書きに文章を変え、表紙はカラーにして、内容についても充実化に努め各所の写真を挿入する等イメージチェンジを図り、明るく読みやすいものに改善しました。

### クラブ・同好会活動・ボランティア活動・行事等の改善

当時はリズム体操、ペタンクのみでしたが、皆さんの意見等を集約し、もっと増やそうと思ひまして、グランドゴルフ同好会、ウォーキング同好会(25会)そしてパソコン同好会を立ち上げることができました。現在でも多くの皆さまにご活用して頂いていることは私の喜びと誇りです。ボランティア活動や行事等も一層の充実と活性化を図る等改善を実行しました。

### こなみ会だよりの今後

現在のこなみ会だよりは表紙がいつも綺麗で素晴らしい、各ページの紙面の構図が上手く読みやすくいつも楽しく読ませて頂いております。今後も一層多くの皆さまに正しい情報は勿論、楽しさ、元気さ、勇気を与えるものでありますように。

# こなみ会だより第 50 号を迎えて

## ボランティア活動考

平成 25 年度 会長 二村 洋治

私が会長を務めていた 6 年前は高年大学の組織、運営、活動等が当時の社会情勢に充分マッチしていないとして関連団体の中で改善策を模索していた。

こなみ会では、この年から障害者と活動を共にする「大江川緑地のさわやかウォーク」活動に参加することになりました。

当時、鯉城会の中心的活動である会員相互の親睦と健康増進の上に重要ポイントとしてボランティア活動が位置づけられた。

そもそもボランティア活動には大規模集中型から地域内での個人活動まで千差万別があるが、いずれの場合でも参加者が他人に強要されることなく自主的に参加することには変わりはない。

ちょっと視点を変えてみよう。

人の住む世界、即ち世間(社会)では、人と人とのつながりなしに行きっていくことは考えられない。



先日 TV や新聞等を賑やかした尾畠春夫さん(78 歳)は、「体の元気なうちは世の中に恩返しをしなければならぬ」と言ってボランティア活動をしていた。

ボランティア活動は、自分がどのように参加し、どう満足するかであり、同じ志を持つ者が集まり活動するものである。そうなればその活動は、世間に感謝され反響は大きなものになるであろう。

人の価値は「その人が行ったものではなく、人に与えたものの大きさである」

と・・・。

とにかく、ボランティア活動とは、一番キレイで美しい言葉ではあるが、この事をどこまで信じられるかは本人の考え方次第である。

尊い

## 名古屋市こころの絆創膏キャンペーンに参加して

副会長 社会奉仕担当 伊藤 敏春

平成三十年九月十一日、名古屋市こころの絆創膏キャンペーンに初めて参加しました。

私達の担当場所は金山総合駅です。活動時間は、十七時三十分～一時間。

開始前に名古屋市健康福祉局障害企画課より本日の注意事項などの挨拶が有り、昭和鯨城会、緑鯨城会、天白鯨城会、南鯨城会（こなみ会）総勢三十九名で開始。

こなみ会は八名の参加でした。

最初は緊張とテレと不慣れのため、なかなか受け取ってもらえず、先輩方を観察して、見よう、見まねで実行していると手渡しのコツが分かり、要領が分かってきたところで百枚の配布は終わりました。

一時間弱の活動でしたが、少し、お手伝いが出来たのかと思いました。

その後、皆で、ビールで乾杯です。とても美味しかったです。

これからも、ご協力よろしくお願ひします。

このキャンペーンの趣旨は様々な悩みやストレスを抱えた人の「こころの傷(悩み)が小さなうちに人と人との絆で手当てしたい」という想いをこめて実施するものです。



## 障害者、全日本グランドソフトボール選手権大会

### ボランティアに参加して

副会長 社会奉仕担当 伊藤 敏春

平成三十年九月二十三日、二十四日に視覚障害者全日本グランドソフトボール大会が道徳公園野球場・道徳小学校・大江中学校にて、開催されました。

全国から勝ち残った、九チームによる大会です。

大会直前に、南区社会福祉協議会からボランティア人数不足のため、コナミ会へ協力要請があり、会長、副会長で対応する事にしました。

私達の仕事はテント、机、イスの準備、片付け、試合中のボールの回収です。

大会、二日間は快晴でした。しっかり、日焼けもし、少し、ハードな時間でしたが目の不自由な人達のプレーを初めて、身近で見て、感動を覚えました。

この大会は毎年、名古屋で開催です。こなみ会として、来年も協力できたらと思っています。

グランドソフトボールとは、

- 一、 視覚障害者の野球。
- 二、 一チーム十人制、四人以上が全盲選手。
- 三、 ピッチャーは全盲選手、キャッチャーは弱視選手。
- 四、 全盲選手はボールが動いている間にキャッチすればゴロでもフライキャチャーアウト。
- 五、 守備と走塁の専用のベースがあります。

全盲選手にはランナーコーチが手を叩くことで塁の方向を支持します。

以上



## 鶴舞公園清掃に参加して

副会長 社会奉仕担当 伊藤 敏春

平成三十年十月六日、九時四十五分に鯉城会石谷会長、森副学長、鶴舞公園事務所佐々木所長の挨拶、そして清掃開始です。

鯉城会と学生会、合同の取り組みで、約、四百人参加です。

こなみ会は十五人、学生会は七人です。

その中で一年生は六人の参加でした。

曇り、小雨の中で、火バサミとゴミ袋を持ちゴミ回収ですが、ゴミも少なく、早めに終了。



九十分弱の活動でしたがこなみ会と学生会との交流が出来たと思います。

学園の事、こなみ会の事など情報交換しながらの清掃は充実した時間でした。

清掃終了後は学生会の四人を含めた有志でランチです。

又、再会出来る事を願い、解散しました。皆様、これからもよろしくお願ひします。



## 第18回 趣味の作品展について

A-豊田 31期 美術 勝 千恵子

10月17日と18日 南区役所講堂で「第18回 趣味の作品展」が開催されました。

作品展も講堂も初めての私には、とても楽しい2日間となりました。

広い空間には、目を見張るばかりの作品の数々…なんと120作品…私にとっては、初めてのロウ彩画、缶アートなど興味深く拝見いたしました。



また、介護施設の方々のとても細かく熱心な作品が、ところせましと展示され、「これ、私の作品なの。月間賞いただいたのよ。」とお話される方のなんとイキイキした表情に感銘を覚えたりもしました。

発表する機会のあることは、生きがいにつながり、そして私たちに受け継がれ、長く続けばと思いを新たにしました。

作品展の開催までには、出品のお願い、目録の作成、会場の準備など人々の協力が求められます。

この作品展を一人でも多くの方に参加・観てもらうためには、何をすれば良いのかなど、多くの課題も残りましたが、次回の作品展に反映されるよう、皆で話し合い、こなみ会独自の楽しんでもいただける作品展を開催出来れば……と思います。



## 第17回鯉城グランドゴルフ大会について

会長 C-菊住 29期 福祉A 大田 雅巳

第17回鯉城会グランド・ゴルフ交換会が10月23日、庄内緑地・陸上競技場で行われました。当日は、天候に恵まれ曇りがちでしたが暑からず寒からずで最高のグランドゴルフ日和でした。

南区、こなみ会から15名が参加しました。今年から始まった区対抗戦は、上位3名のスコアの合計で順位が決まります。

南区の上位3人のスコアは後藤さん34、太田さん35、鈴木さん37合計106となり、みごとに優勝しました。

2位は108で4つの区会が入りました。



代表として大田会長が表彰を受けました。皆さんおめでとうございます。

今後こなみ会グランドゴルフ同好会の発展のため頑張りましょう。

個人戦でも太田さんが35でAグループで優勝、Cグループで後藤さんが34で3位、鈴木さんが37で5位、野村さんが38でに入賞されました。



## シニアファッションショーに参加して

D-桜(1) 29期 国際B 加藤 政代

平成 27 年度より、毎年 11 月に南区介護事業所・南区役所主催の介護の日フェアのイベントとして、要介護の方と一緒にファッションショーも行われます。

そもそも事の始まりは、名古屋市内で南区が一番高齢者が多いという事で、南区役所が旗揚げをしました。65 歳以上一般公募です。平均年齢 70 歳、最高年齢の方は 90 歳です。男女で 30 名参加しました。その日の為に健康体操・ウォーキング等のレッスンを受け、そしてそれぞれが自前のお気に入りの衣装に工夫を加えて心ウキウキ、メイクはモード学園さん、コーディネートは桜台高校の生徒さんに協力をお願いして、イオンモール新瑞店にて行いました。300 人余りのギャラリーの見守る中を



皆さん胸を張ってランウェイを歩きました。この体験を通して少しでも出かけるキッカケが生まれたらこの上ない企画だと思いました。

2 回目イオンモール新瑞店にて 500 人余りのギャラリー参加でした。3 回目からはテレビ塔下にて開催、名古屋介護の日フェアと名前が変わり夢コレクションとなりました。ギャラリーも 1,000 人と増えました。平成 30 年 11 月 10 日今

年 4 回目もテレビ塔下に、40 名のモデルさん達が青空のもとサッソウと胸を張ってランウェイを闊歩しました。

皆さん年を追うごとにレパトリーが増えて華やかになりました。そして皆さんの笑顔もこの上なく素晴らしかったです。私も南区のシンボルフラワーのひまわりを帽子とブーケにアレンジして、ランウェイ歩きました。

ギャラリーは 1,500 人でした。そして来年 5 回目に参加出来るように皆さんも一緒に夢を見ませんか？

とても楽しいですよ。



平成30年11月4日（日）開催

# こなみペタンク大会

こなみペタンク同好会 代表 瀬口 勝

朝、目を覚ますと道路は濡れ空はどんより曇り空！テレビをつけ6時58分のNHK天気予報を見ると降水確率“60%”・・・どうしょう今日のペタンク大会は中止か？決行か？・・・しばらく悩む・・・再度パソコンを開き日本気象台の天気図を見ると午前は曇りだ！よし決行しよう。

9時集合に参加の皆さん三々五々集まってきました。本日の競技参加者は17名、内11名の競技者はペタンク球を持ってない人ですが本日、参加できなかった人からペタンク球をお借りしました。快くペタンク球を貸して頂きました！ありがとうございます。感謝申し上げます。

こなみ会太田会長の力強い大会開催宣言によりペタンク大会の幕がおりました。

競技が始まりました！そちらこちらで賑やかに“大きな声でやったー！入ったー！”皆さん凄くお元気です、今や100歳時代”この日本に6万9785人の方たちは100歳以上です。皆さんの共通してる事は①よく笑う②よくお喋りする。

まだ沢山のことがあると思いますが“感謝”する気持ちは大切な事又来年も！



お願い！ペタンク球をお持ちの方へ、ペタンク同好会へ球を譲って下さい。  
連絡先：瀬口勝 090-6614-6411 又は 822-3307 メール msachi716@gmail.Com

あっちこちで賑やかな笑いや、悲鳴や、和気あいあいの声が響きわたります。  
“楽しい笑い “ “ヤッター” “入ったー” “嬉しいお喋り “  
お友達すぐに出来るコミュニケーション、お友達！！いつでも待ってます！

こなみペタンク大会 平成30年11月4日(日)開催

## ——参加者順位及び賞品表——

大会参加者数20人

	お名前	順位賞	飛び賞	参加賞
優勝	金森さん	○		○
2位	森さん	○		○
3位	浅井さん	○		○
4位	遠藤さん	○		○
5位	松岡さん	○		○
6位(幻の2位)	後藤さん			○
7位	福島さん		○	○
8位	近藤さん			○
9位	倉地さん			○
10位	小野田さん		○	○
11位	春日部さん			○
12位	菊池さん			○
13位	安藤さん		○	○
14位	米田さん			○
15位	竹内さん		○	○
16位	太田さん	BB		○
17位	平野さん	BR		○
18 世話役	瀬口さん	————	————	○
19 不出場	櫛田さん	————	————	○
20 不出場	舟橋さん	————	————	○

\*幻の2位：大会順位発表の翌日点数表を再確認していたら集計ミス！！

大変すみません、賞等々修正は致しません宜しくお願い致します。  
皆様お疲れ様でした！若干お天気に悩まされましたが無事終了いたしました。ありがとうございました。

毎日曜日8時30分より呼続公園でペタンクしてます。

お待ちしております。



## 25 会（ウォーキング）だより

### ～多治見市散策と紅葉狩りコース～

ニーゴー会 森 晴生

朝から見事に晴れわたり爽やかな秋空となった11月25日（日）、多治見市街散策と古刹「永保寺」に向けて午前10時ウォーキングを開始。参加者9名（少し寂しい人数でしたが）の日頃の心掛けがよく、前述のとおり爽快な気分でも目的地を目指すことができました。（参加者に、感謝・感謝）



歩き始めた頃は、若干肌寒く感じていましたが、商店街を過ぎ、オリベロードの途中にある「アルティジャーノ（パン工房）」に立ち寄り、昼食をGET、再び歩き出してから、汗ばむようになり上着1枚脱ぐほどでした。雑談をしながら、陶器店を覗き見し、古い街並みにマッチした交番の建物を眺め等々しながら、1時間20分程で第一の目的地「多治見修道院」に到着、日曜礼拝で多くの信者さんが見えになる中、パイプオルガンの演奏を聴きながら内部見学をさせて頂き、一通りの見学を終えて外に出る頃には、身も心も洗われた気になりました。

（パイプオルガンの演奏は厳かでした）心惹かれる思いで修道院を後に、最終目



的地である「永保寺」へと向かいました。20分程で虎溪公園に着き、永保寺の趣のある西参道を下り永保寺へと歩を進めました。到着後即ランチタイムとなり、土岐川の河原で各々が購入したパンを食し、一時休息の時間を過ごしました。今年の紅葉は例年に比べ、2週間ほど早く紅葉が始まったとのことでしたが、大銀杏の木はきれいな黄色の葉を保ち、他の楓等も艶や

かな紅とは言い切れませんが、それでも十分紅葉狩りを堪能することが出来ました。（来て良かった！！疲れも吹っ飛びました）堪能した後は、帰るだけ。

帰路は、午前歩いたルートと異なった道を JR 多治見駅に向けてひたすら歩く、虎溪山口を通過、住吉町も通過・永保寺を出発して50分程で到着、14時21分発の快速で名古屋へ。参加された皆様お疲れ様でした。

こなみ会会員皆様の参加、一緒に健康的なウォーキングをしましょう！！。

## 昭和日常博物館見学記

Aブロック長 明治 26期 生活B 都築 隆

10月28日(水)北名古屋市の「昭和日常博物館」を、Aブロック(参加者8名)で見学しました。

館内には、ホーロー看板や「クラシックカー」、電化製品は当然のこと、商品のパッケージの実物(紙製のアイスクリームのカップなど)や駄菓子屋から発掘されたであろうお菓子が入ったままのガラスびん又、昭和の食卓を再現した部屋等、雑多な物が豊富に展示されていて50代以上の人は昭和30年代にタイムスリップができます。



この博物館は駐車場無料、入館料無料なので気軽に見学ができます。

見学後は近くの和食亭でビールで乾杯後昼食を取りながらの歓談、その後、西春駅まで健康増進を兼ねウォーキング、楽しい一日を過ごすことができました。

## Bブロック会に参加して

B一千鳥 29期 健康A 木村 満治

11月9日(金)にBブロックの会が開催されましたので参加しました。当日は雨にも係わらず16名の方が参加されました。いつもは、食事会だけですが、今回は、名鉄



電車の大江駅構内にある矢作建設工業(株)殿の鉄道技術研修センターにて

- ①「身体、視覚障がい者の支援について」
- ②「踏切の安全な渡り方・ホームの利用について」の研修を受講しました。

研修所では、矢作建設工業(株)殿の講師のかたより、先ず机上での講義、続いて本物と同じように作られた駅・信号機・遮断機で、①・②項について具体的に丁寧に説明をしていただきました。日頃見慣れたものばかりですが、いろいろと説明をお聞きすると、知らないことばかりであり勉強になりました。この鉄道技術研修センターは、会社の人のための研修センターであるが、会社のPRのために、一般の方にもこのような研修に利用していただいているとのことでした。(今までの実績として、1,500人程度あり)

次に、港東通にあるお好み焼き屋の「ねぎぼーず」にて食事会が開催されました。

昼の食事会の為、アルコールは乾杯のみでしたが、ほろ酔い気分で皆さんと会話が弾み、楽しい時間を過ごすことができました。

今回のBブロック会は、研修と食事会の楽しくためになる会合でした。幹事さんお疲れ様でした。次回も楽しみにしています。



研修状況

## 私の「奥の細道」

B一千鳥 20期 環境 荒井 久治

まえがき) 昨年(2017)の11月下旬、長年の夢、松島を訪ねた。瑞巖寺の五大堂は松に囲まれて厳然とたたずみ島々を背景に一服の名画を構成。芭蕉の句は「松島や、ああ松島や、松島や」と錯覚していたが、紀行文には「いずれの人か筆をふるい言葉をつくさん」と余人に発句を任せた。出合いは高校の教科書で「月日は百代の過客にして、行きかう年も旅人なり・・・」、旅立ちの句「行く春や 鳥啼き魚の目は泪」を始め難解だった。旅は深川～千住を船で行き、千住で降り、多くの人に見送られ同行の曾良と共に歩き出した。(図1)。



図1 旅姿

元禄2年(1689)3月27日の事。9月6日の大垣で終わる約150日(約5か月)、約2400キロの旅出であった。芭蕉は「古人も多く旅に死せるあり、予もいずれの年よりか片雲の風に誘われて漂流の思いやまず・・・」と大変な決意の旅、その5年後に大阪で亡くなっています。

ここでクイズ①：当時の平均寿命は何歳だと思いますか？

②芭蕉の死亡年齢は？③旅に出たのは何歳？ NHKの人気のチョコちゃんに「ポーと生きているんじゃねーよ」と叱られない程度の答を！

旅の思い出) 1) 東日本大震災時の津波は松島の無数の島々が防波堤となり防ぎ、被害は少なく、多くの外国観光客で賑わっていた。観光船で湾内を一周した、今にも無くなりそうな一本松の岩もあれば小学校のある大きな島もあり「百聞は一見にしかず」言葉にならない。五大堂は有名で橋の造りが面白い(図2)。

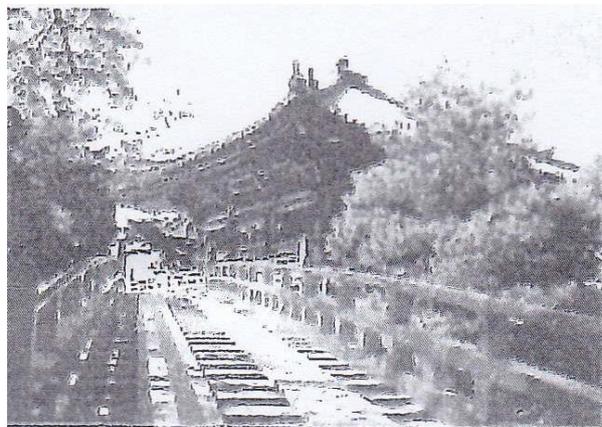


図2 五大堂

折からチラチラと初雪も堂まわりを舞始め、風情を添えた。

2) この旅で高村光太郎の智恵子生抄の中にある「あどけない話」に出てくる阿多々羅山(あたたらやま)を知ったのは予想外の収穫だった。それは仙台を出て高速道路から遥かな遠くの秋色に染まった山で青空に映えていた。「智恵子は東京には空はないといふ、ほんとうの空を見たいといふ、私は驚いて空を見る、・・・

千恵子は遠くを見ながら言ふ、阿多々羅山の山の上に毎日出ている青い空が本当の空だと言ふ、あどけない空の話である」(昭和3年5月)。

3) 尾花沢は花笠音頭で「雪見る尾花沢」とあり雪深処。道路の脇に防雪の柵を備え、近くの銀山温泉は川を挟み左右に趣のある建物と多くの橋を配し初雪の中に優雅にたたずむ。芭蕉は当地の豪商の家に逗留し3句残した。

4) 「五月雨を集めて早し最上川」バス道路は川に沿って造られ、処どころ芭蕉・曾良の立像を見受けた。乗船場では菅笠の船頭と案内人が控え、商社あがりの案内人が英語で説明したのにはビックリ、冬季に向かい水量も普通で流れはそれ程ではなかった。

5) 出羽三山を抜けて山形の「静けさや岩にしみいる蟬の声」で有名な立石寺を訪れた。急な山肌にはり付いた寺や石段は大勢の観光客には危険が多く更に時間がかかると旅行社は、寺の反対側に対峙する山の高所に造られた駐車場へバスで案内し、かなたに見える立石寺の石段や鐘楼などを眺めた。あんちよく観光の極みである。そこから宮城県の喜多方に向かい高い山を越える時、雪が降りだした。遠近の山々の松に積もる雪は雪舟や横山大観を越す最高の水墨画を描き、久し振りに雪国の美しさを思い出した。幸い、無事に山を越え名物の喜多方ラーメンを頂き帰路についた。

次は私の40年にわたる奥の細道の関連知に訪れた地名と芭蕉の俳句。

- ① 日光：「あらたふと 青葉若葉の 日の光」 (ツアー数回)
  - ② 平泉：「夏草や 兵どもが 夢のあと」 (東北3大祭りの時)
  - ③ 尾花沢：「涼しさを 我が宿にして ねまる也」 (今回)
  - ④ 立石寺：「閑さや 岩にしみ入る 蟬の声」 (今回)
  - ⑤ 新庄：「五月雨を 集めて早し 最上川」 (今回)
  - ⑥ 出羽三山：「涼しさを ほの三か月の 羽黒山」 (東北3大祭りの時)
  - ⑦ 象潟：「汐越や 鶴はぎぬれて 海涼し」 (出張時)
  - ⑧ 出雲崎：「荒海や 佐渡によこたふ 天の河」 (新潟のツアー)
  - ⑨ 市振の関：「一家 (ひとつや) に 遊女もねたり 萩と月」 (修学旅行)
  - ⑩ 金沢：「あかあかと 日はつれなくも 秋の風」 (修学旅行とツアー)
  - ⑪ 小松「しおらしき 名や小松吹く 萩すすき」 (学会の会合)
  - ⑫ 那谷寺：「石山の 石より白し 秋の風」 (ツアーで数回)
  - ⑬ 山中：「山中や 喜久は手折らぬ 湯の匂」 (学会の会合、ツアー)
- 曾良は腹の病で伊勢の長島で治療のため山中で芭蕉と別れる  
「行き行きて 倒れ伏すとも 萩の原」 曾良 芭蕉の館あり
- ⑭ 敦賀：「名月や 北国日和 定めなき」 (ツアー数回)
  - ⑮ 大垣：「蛤の ふたみに別れ ゆく秋ぞ」 (個人で数回)

旅立ち深川3月27日～8月21日大垣に到着  
 9月6日、大垣より船路で伊勢に向かう 旅の終  
 了46歳

5年後 元禄7年(1694. 10. 12)大阪で発病し死亡、  
 51歳

当時の男性の平均寿命は42.7歳

辞世の句 「旅に病んで 夢は枯野を かけめぐる」

以上



図3 馬上姿

## 朝は体操から

C-菊住 31期 環境 杉浦 和司

朝五時半、さすがに十一月に入ると夜明けが遅く懐中電灯を持って歩かないと舗装道路も危険な時間帯です。

私が朝の体操に参加するようになってからちょうど十年目になります。

毎日のことなので、時には体調が悪く気分も優れず、休みたい時があるのですが、そんな日は何も考えないで兎に角、家を出て体操場所の瑞穂公園に向かいます。

朝の暗い時、暑い日、寒い日、四季折々の季節を目に肌を感じながら、又時々行き交う知らない人と挨拶を交わし山崎川の散策道路を十二分ほど歩いて体操広場に着きます。

着く頃には結構テンションが上がって頑張れる気持ちになっております。

現在は九十三歳の最高齢者を筆頭に八十歳代が多いです。

皆さんお元気で私の人生の模範となる人達ばかりです。

このクラブの体操は内容が大変良いので今後も長く続けようと思っております。



川柳 二十三期 生活B 湯浅 美祢子

長生きをしてリニアにも乗るつもり

ロボットの介護になるか長寿国

遺稿集読んで偉大な父を識る

愛し合う彼も仰いだ青い空

防犯を優先させる侘び住まい



俳句 二十七期 文化A 才野良子

襖絵の座る目線に豹虎図絵

五景松指先ほどの新松子

皓々と雲一つなき望の月

花閉づる時を忘れず未草

天高し海に燦たる舟の鳥居



短歌 一九期 文化A 広瀬 敏雄

くもの巣の張り方眺め出来映えに

幾何学模様は誰に習うか

片付けに妻の日記の見つかりて

心情読めば心が痛む



バレンタイン孫の嫁よりスイーツが

届けて嬉し謝礼は多め

日本刀で切り裂くような鋭さで

羽生選手は銀盤を舞う



ハイビスカス冬を乗り切りこの四月

大きな花咲きにけり



## 平成31年1月～4月「こなみ会」行事予定



月	日	行事予定	会場
1	12 (土)	こなみ会だより「50」号発行	社福協5階研修室
	17 (木)	熱田神宮参拝・新年会	熱田神宮・白鳥甲羅本店
	19 (土)	定例役員会(9:30～11:30)	社福協5階研修室
	25 (金)	区会説明会(2年生対象)	未定
2	16 (土)	定例役員会(9:30～11:30)	社福協5階研修室
	下旬	こころの絆創膏	未定
3	7 (木)	鯨城会OB文化祭	鯨城ホール
	10 (日)	名古屋ウイメンズマラソン	コース沿線・ボランティア
	16 (土)	定例役員会(9:30～11:30)	社福協5階研修室
	30 (土)	新旧役員引継ぎ	社福協5階研修室
4	日程未定 こなみ会31年度総会にて決定		

### 「編集後記」

”あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ致します”

「こなみ会だより」の第50号発行に関しましては、皆様のご協力を頂き有難うございました。今回は50号という記念すべきものです。このように長く継続できたのも皆さまのご協力の賜物と感謝しております。これからも継続してまいりますので、ご支援・ご鞭撻をよろしくお願ひ致します。

発行者 南鯨城会・名古屋高年大学 鯨城学園  
 発行責任者 南鯨城会会長 大田 雅巳 (☎ 825-5018)  
 広報委員 委員長 木村 満治 (☎ 611-2886)  
 杉浦 和司 鶴田 好美 鈴木 君代 福島 健治